

ユダヤ系ドイツ人への迫害 (1933~1945)

川上 朋 男

Verfolgung der deutschen Juden (1933~1945)

Tomoo KAWAKAMI

要 旨

本稿は、1933年から1945年までの各年代ごとに、第三帝国が国内のユダヤ系ドイツ人に対して行った主な反ユダヤ的施策を記述するとともに、迫害された著名なユダヤ人のその後について略述したものである。第三帝国が次々に打ち出した反ユダヤ的施策を辿ることにより、ユダヤ人の生存権が次第に奪われ、最後には存在自体が全否定されていく過程を読み取ることができるだろう。ドイツのユダヤ人の運命は、国内にとどまるか、それとも外国に移住・亡命するかによって大きく明暗が分かれた。しかし、移住・亡命先によっても、彼らのその後の運命が左右されることになった。だが、幸運にも英国やアメリカに移住・亡命できた者も、異言語・異文化の中で筆舌に尽くしがたい苦勞を強いられたことであろう。本稿で取り上げたユダヤ人は、迫害後の消息を知ることができる著名な人々の一部に過ぎない。彼らの背後には、ホロコーストの犠牲になった何百万人もの無名のユダヤ人達がいたことを、私たちは忘れてはならない。

キーワード：迫害、ユダヤ系ドイツ人、国外移住、第三帝国

Abstract

This paper describes major anti-Semitic measures that the Third Reich enacted against the German Jews as well as outline the lives of famous German Jews after the persecutions from 1933 to 1945 chronologically. By tracing the anti-Semitic measures that the Third Reich launched one after another, it can be seen that the Jews would gradually be deprived of their human rights and the process of Jews' existence itself completely denied till the end. The fate of the German Jews was divided greatly by whether they would be allowed to stay in Germany or to have them emigrate or to self-exile to foreign countries. Moreover, their fates afterwards were decided by emigration and or asylum. However, it seems that those who were fortunate enough to emigrate and exile themselves to the UK and the US would have been forced to endure the greatest hardships under different languages and cultures. It should be noted that the German Jews mentioned in this paper were only a few of the prominent Jews traced after the persecutions. We must also never forget the millions of nameless Jews who were the victims of the Holocaust and are not among the few that survived.

Keywords : Verfolgung, Deutsche Juden, Auswanderung, Drittes Reich

■1933年

ドイツ国内のユダヤ人は総人口の約0.77%にあたる約50万人、その内約50%が大都市に住む。ベルリンには約16万人のユダヤ人が居住する。¹⁾

- 1月30日 アドルフ・ヒトラー (Adolf Hitler, 1889~1945)、首相に就任する。
- 2月27日 国会議事堂放火事件が発生する。
- 3月20日 ダッハウ (Dachau) に強制収容所が作られる。
- 3月23日 全権委任法 [Gesetz zur Behebung der Not von Volk und Reich] が成立する。
- 4月 1日 ユダヤ人商店、医師、弁護士へのボイコットが始まる。
- 4月 7日 「職業官吏階級の再建に関する法 [Gesetz zur Wiederherstellung des Berufsbeamtentums]」が公布される。ユダヤ人公務員への強制退職が行われる。
- 4月 7日 「弁護士認可に関する法 [Gesetz über die Zulassung zur Rechtsanwaltschaft]」が公布される。ユダヤ人弁護士の認可が取り消される。
- 4月13日 援助と再建のためのドイツ・ユダヤ人中央委員会 (Zentralausschuß des deutschen Juden für Hilfe und Aufbau) が設立される。
- 4月21日 ユダヤ教の典例に則った屠殺が禁止される。
- 4月22日 ユダヤ人医師に対する健康保険医の認定が取り消される。
- 4月25日 「ドイツ学校・大学の定員超過防止法 [Gesetz gegen die Überfüllung deutscher Schulen und Hochschulen]」が公布される。学校、大学におけるユダヤ人学生数が制限される (入学者総数の1.5%)。
- 4月25日 スポーツ、体操協会からユダヤ人が排除される。
- 5月10日 非ドイツ的書物が焚書される。
- 6月 2日 ユダヤ人歯科医師、歯科技工士は健康保険から除外される。
- 7月 ドイツ・ユダヤ文化同盟 (Kulturbund Deutscher Juden) が設立される。1935年、36以上の地方組織からなるドイツ国ユダヤ文化同盟連合 (Reichsverband jüdischer Kulturbünde in Deutschland) に拡大する。1939年、名称がドイツ社団法人ユダヤ文化同盟 (Jüdische Kulturbund in Deutschland e.V.) に変更される。1941年9月11日に解散させられる。
- 7月14日 1918年11月9日から1933年1月30日の間にドイツ国籍を取得した東方ユダヤ人のドイツ国籍が取り消される。[Gesetz über den Widerruf von Einbürgerungen und die Aberkennung der deutschen Staatsangehörigkeit]
- 8月16日 ユダヤ人は合唱団から排除される。
- 8月22日 ユダヤ人のベルリン・ヴェン湖 (Wannsee) での遊泳が禁止される。
- 9月13日 遺伝学と民族学の授業が学校教育に導入される。
- 9月17日 ドイツ・ユダヤ人帝国代表部 (Reichsvertretung der deutschen Juden) が設立される。
- 9月22日 帝国文化院 (Reichskulturkammer) が設立される。[Reichskulturkammergesetz]
- 9月29日 「ドイツ世襲農場法 [Reichserbhofgesetz]」が公布される。ユダヤ人は農業から排除される。
- 10月 4日 「編集者法 [Schriftleitergesetz]」が公布される。ユダヤ人の著作活動が禁止される。

フリードリヒ・アードラー (Friedrich Adler, 1878~1942)、ハンブルクの工芸学校 (Kunstgewerbeschule) 教授職を解雇される。彼は、ユーゲント・シュティール (Jugendstil) とアール・デコ (Art Déco) の芸術家として知られる。ドイツ・ユダヤ文化同盟に加わり、1934年からユダヤ人学校で工芸を教える。1936年、パレスチナやキプロスに旅行する。1942年7月、アウシュヴィッツ (Auschwitz) に移送後殺害される。

ヨーゼフ・アルバース (Josef Albers, 1888~1976)、バウハウス (Bauhaus) の閉鎖後、アメリカに移住する。彼はバウハウス出身で、1925年からヴァイマル・バウハウスの教員となる。アメリカでは、1933~49年ブラックマウンテン・カレッジ (Black Mountain College) 教授を務め、1950~59年イェール大学 (Yale University) デザイン学部で教鞭を執る。アルバースは、オプティカル・アートの先駆者とされ、連作「正方形へのオマージュ (Homage to the Square)」で知られる。1968年、プール・ル・メリット勲章 (Pour le Mérite) を受賞する。

ハンナ・アーレント (Hannah Arendt, 1906~1975)、フランスに亡命する。1935~38年、青少年のパレスチナ移住を援助する青年アリヤー (Jugend-Alijah) パリ事務局長を務める。1940年、敵性外国人と見なされ、フランス南西部の収容所に抑留される。ドイツ軍によるパリ占領後、収容所を脱出し、アメリカに逃れる。ユダヤ系雑誌や新聞にエッセイ・論文等を寄稿し、1948~52年、ユダヤの書物や文化財を救済するユダヤ文化復興委員会 (Jewish Cultural Reconstruction Organization) の責任者となる。1951年、アメリカ市民権を取得する。1959年、レッシング賞 (Lessing-Preis) を受賞する。1963~67年シカゴ大学 (University of Chicago) 教授、1967~75年ニュースクール大

学 (New School for Social Research) 教授を務める。著書には、1951 年「全体主義の起源 (Elemente und Ursprünge totaler Herrschaft)」、1963 年「イェルサレムのアイヒマン (Eichmann in Jerusalem)」等がある。

レオ・ベック (Leo Baeck, 1873~1956)、ドイツのユダヤ人の精神的リーダーとして、ドイツ・ユダヤ人帝国代表部の会長に選出される。1939 年にはドイツ帝国ユダヤ人連合の議長になる。1943 年、テレージエンシュタット・ゲットー (Ghetto Theresienstadt) に移送される。テレージエンシュタットでは長老評議会メンバーとして同胞の指導と援助に力を尽くす。1945 年、ゲットー解放後、ロンドンに移住する。同年、進歩派ユダヤ教世界同盟 (World Union for Progressive Judaism) 会長に就任する。1948 年、シンシナティのヘブライ・ユニオンカレッジ (Hebrew Union College) 教授に就任する。1954 年、レオ・ベック研究所 (Leo Baeck Institute) がニューヨークで設立される。

ヴァルター・ベンヤミン (Walter Benjamin, 1892~1940)、パリに亡命する。フランクフルト社会研究所 (Institut für Sozialforschung) の「社会研究誌 (Zeitschrift für Sozialforschung)」に寄稿する。1936 年、「複製技術時代の芸術 (Das Kunstwerk im Zeitalter seiner technischen Reproduzierbarkeit)」を発表する。1939 年、敵性外国人としてヌヴェール (Nevers) 近郊の収容所に収容されるが、釈放されパリに戻る。1940 年、パリ陥落によりパリを脱出する。スペインとポルトガル経由で渡米を試みるが、スペイン警察に入国を拒まれる。彼はフランスへ強制送還されるのを恐れ、大量のモルヒネを摂取し死亡する。

女子走り幅跳び選手グレーテル・ベルクマン (Gretel Bergmann, 1914~2017)、所属陸上クラブから除名される。彼女は英国に渡って競技活動を行い、1934 年には英国の走り高跳びチャンピオンになる。ドイツ政府は、1936 年のベルリン・オリンピックに向け、彼女に帰国を強要する。ベルクマンはドイツの各種の競技大会で優れた成績を収め、オリンピック直前にはドイツ記録保持者となる。しかし、メダル候補にもかかわらず、彼女は出場選手リストから外される。1937 年、ベルクマンはアメリカに移住し、アメリカでも優れた記録を残す。2009 年、彼女をモデルにした映画「ベルリン 36 (Berlin 36)」が公開される。2012 年、ドイツ・スポーツ荣誉殿堂 (Hall of Fame des deutschen Sports) 入りとなる。

ドイツ劇場の女優エリーザベト・ベルクナー (Elisabeth Bergner, 1897~1986)、夫で監督のパウル・ツィンナー (Paul Czinner, 1890~1972) とウィーンを経てロンドンに亡命する。1938 年、英国国籍を取得する。1939 年、アメリカへ渡り、舞台女優として活動する。1950 年、英国へ戻る。1959 年、ドイツに帰国する。1936 年「お気に召すまま (As You Like It)」、1970 年「栄光への戦い (DER KURIER DES ZAREN)」等、多数の映画作品に出演する。ベルクナーは、1935 年「逃げちゃ嫌よ (ESCAPE ME NEVER)」で 1936 年第 8 回アカデミー賞主演女優賞にノミネートされる。

エルンスト・ブロッホ (Ernst Bloch, 1885~1977)、スイスに亡命する。その後、1934 年パリ、1936 年プラハを経て、1938 年アメリカに移住する。1949 年、ドイツ (ドイツ民主共和国: Deutsche Demokratische Republik) に帰国し、ライプツィヒ大学 (Universität Leipzig) 哲学教授を務める。1954~59 年、「希望の原理 (Das Prinzip Hoffnung)」を著す。1961 年、ドイツ連邦共和国 (Bundesrepublik Deutschland) へ移り、テュービンゲン大学 (Eberhard Karls Universität Tübingen) 客員教授となる。1967 年、ドイツ出版協会平和賞 (Friedenspreis des Deutschen Buchhandels) を受賞する。1968 年、「キリスト教の中の無神論 (Atheismus im Christentum)」を発表する。

クルト・ブルーメンフェルト (Kurt Blumenfeld, 1884~1963)、パレスチナに移住する。彼は、1924 年からドイツ・シオニスト連合 (Zionistische Vereinigung für Deutschland) 議長を務める。1936 年、ケレン・ハイェソッド移民基金 (Keren Hayesod) 理事長となる。

ゲッティンゲン大学 (Universität Göttingen) 理論物理学教授マックス・ボルン (Max Born, 1882~1970)、解雇される。彼は、英国に亡命し、ケンブリッジ大学 (University of Cambridge) 講師、エディンバラ大学 (University of Edinburgh) 教授を務める。1939 年、英国国籍を取得する。1954 年、ドイツに帰国し、同年ノーベル物理学賞を受賞する。

マルティン・ブーバー (Martin Buber, 1878~1965)、フランクフルト大学 (Johann Wolfgang Goethe-Universität Frankfurt am Main) 客員教授を辞する。ドイツ・ユダヤ文化同盟でユダヤ人成人教育センター (Mittelstelle für jüdische Erwachsenenbildung) の設立に加わる。1938 年、エルサレムに移住し、ヘブライ大学 (Hebrew University of Jerusalem) 社会哲学教授を務める。1949 年、成人教育のためのセミナーを設立する。1953 年、ドイツ出版協会平和賞を受賞する。1955 年、「バアルシェムの伝説 (Die Legende des Baalschem)」を著す。

ファニー・ダーフィット (Fanny David, 1892~1944)、バルムベク・ノルト (Barmbek-Nord) の社会福祉事務所上級監督官の職を解雇される。その後彼女は、ハンブルク・ユダヤ人共同体で移住者経済支援活動を行う。1943 年、テレージエンシュタットへ移送され、ゲットーの自治管理運営に携わる。1944 年、アウシュヴィッツへ移送され殺害される。

アルフレート・デーブリン (Alfred Döblin, 1878~1957)、パリに亡命する。1936 年、フランス国籍を取得する。1940 年、アメリカへ渡り、ハリウッドで 1 年間 MGM 社のスク립トライターとして働く。1941 年、カトリックに改宗する。

1946年、フランス軍文化将校としてドイツに戻る。1953年、戦後のドイツに失望してパリに移る。1934年「バビロン遍歴 (Babylonische Wanderung)、1949/50年「1918年11月 (November 1918)」、1956年「ハムレット、あるいは長い夜は終わる (Hamlet oder Die lange Nacht nimmt ein Ende)」を著す。

アルフレート・アインシュタイン (Alfred Einstein、1880～1952)、「音楽学雑誌 (Zeitschrift für Musikwissenschaft)」の編集者ポスト及び「ベルリン日報 (Berliner Tageblatt)」の音楽批評担当を解雇される。彼はロンドンに亡命し、その後イタリアへ移る。1939年、アメリカに移住し、ノーサンプトンのスミスカレッジ (Smith College) で音楽学を教える。1937年、「ケッヘル目録 (Köchelverzeichnis)」第3版を編集する。1945年、「モーツァルト、その生涯と作品 (Mozart. Sein Charakter, sein Werk)」を著す。

1921年度ノーベル物理学賞受賞者アルベルト・アインシュタイン (Albert Einstein、1879～1955)、プロイセン科学アカデミー (Preußische Akademie der Wissenschaften) に脱会を伝える。同年アメリカに移住し、プリンストンの高等研究所 (Institute for Advanced Study) で研究活動を行う。1940年、アメリカ市民権を取得する。1955年、哲学者バートランド・ラッセル (Bertrand Russell) とともに、核兵器廃絶と科学技術の平和利用を訴える「ラッセル＝アインシュタイン宣言 (Russell-Einstein-Manifest)」を発表する。

作曲家ハンス・アイスラー (Hanns Eisler、1898～1962)、国内での活動を禁止され、ウィーン、チェコスロヴァキア、パリ、ロンドン、ニューヨーク等で演奏や講演を行い、1938年アメリカに移住する。彼は、1919年からシェーンベルクに師事する。1926年には共産党に入党、1930年ブレヒト (Bertolt Brecht、1898～1956) と共同で作曲活動を行う。1931年「連帯の歌 (Solidaritätslied)」、1934年「統一戦線の歌 (Das Lied von der Einheitsfront)」を作曲する。移住先のアメリカでは、多数の映画音楽を作曲する。1948年、下院非米活動委員会の調査対象になり、国外追放される。1949年、ドイツに戻り、ドイツ民主共和国国歌、劇場・映画音楽を作曲する。また、ドイツ芸術アカデミー (Deutsche Akademie der Künste) でも教鞭を執る。民主共和国政府が1950年に東ベルリンに創設したドイツ音楽大学は、1964年にハンス・アイスラー音楽大学ベルリン (Hochschule für Musik Hanns Eisler Berlin) に名称変更される。

リーオン・フォイヒトヴァンガー (Lion Feuchtwanger、1884～1958)、アメリカでの講演旅行中にナチ党 (国家社会主義ドイツ労働者党 Nationalsozialistische Deutsche Arbeiterpartei) による権力掌握を聞き、ドイツに戻らず南フランスへ向かう。1935年、三部作「ヨセフス (Josephus)」の第二巻「息子たち (Söhne)」を著す。ソ連に招かれ、1936年12月～37年2月モスクワに滞在する。1940年、敵性外国人として南フランスの収容所に収容されるが、逃れてアメリカに渡る。1951年「ゴヤ (Goya)」、1954年三部作「ヨセフス」の第三巻「その日は来る (Der Tag wird kommen)」、1955年「トレドのユダヤ人女性 (Die Jüdin von Toledo)」、1957年「イエフタと彼の娘 (Jefta und seine Tochter)」を著す。

グスタフ・フラトウ (Gustav Flatow、1875～1945)、オランダに移住する。彼は、1896年のアテネ・オリンピックで、ドイツ代表体操選手として平行棒と鉄棒団体競技で2個の金メダルを獲得する。1943年、逮捕され、翌年テレージェンシュタットへ移送される。1945年、死亡する。

1925年度ノーベル物理学賞受賞者ジェイムズ・フランク (James Franck、1882～1964)、ゲッティンゲン大学教授職を辞す。アメリカに移住後、ジョンズ・ホプキンス大学 (Johns Hopkins University) 教授、1938年にはシカゴ大学教授を務める。1942年、シカゴ大学冶金研究所 (Metallurgical Laboratory) の化学部門長としてマンハッタン計画 (Manhattan-Projekt) に関わる。1951年、ドイツ物理学会からマックス・プランク・メダル (Max-Planck-Medaille) を授与される。1955年、アメリカ芸術科学アカデミー (American Academy of Arts and Sciences) からランフォード賞 (Rumford-Preis) を授与される。1964年、王立協会 (Royal Society) 会員になる。

ジャーナリスト、劇評家マンフレート・ゲオルゲ (Manfred George、1893～1965)、チェコスロヴァキアに亡命する。1938年、アメリカに渡る。1939年、ユダヤ人の雑誌「アウフバウ (Aufbau)」編集長に就任する。同誌は、アメリカの参戦後には発行部数5万部に達する週刊新聞に成長する。

作家ヴァルター・ハーゼンクレーヴァー (Walter Hasenclever、1890～1940)、フランスに亡命する。1934年、戯曲「ミュンヒハウゼン (Münchhausen)」を発表する。1934～38年、ユーゴスラビア、イタリア、イギリスと転居し、その後フランスへ戻る。第二次世界大戦中、敵性外国人として二度逮捕される。1940年、再逮捕され南フランスの収容所に送られる。ドイツ軍の接近の報を聞き自殺する。1969年、自伝的小説「誤謬と情熱 (Irrtum und Leidenschaft)」が遺稿として出版される。

社会風刺のフォトモンタージュ作家ジョン・ハートフィールド (John Heartfield、本名：ヘルムート・ヘルツフェルト Helmut Herzfeld、1891～1968)、プラハへ逃れる。1938年、ロンドンに亡命するが、敵性外国人として収容所に収監される。1950年、ドイツに帰国し、ライプツィヒに居住する。その後、1956年に東ベルリンに移る。同年、ドイツ芸術アカデミー会員となる。1957年、ドイツ民主共和国国民賞 (Nationalpreis der DDR) を授与される。

作家ゲオルク・ヘルマン (Georg Hermann、1871～1943)、オランダに亡命する。1935年、「B.M., 見知らぬ歩行者 (B. M.,

der unbekannte Fussgänger)」を著す。ドイツ軍によるオランダ占領後捕らえられ、1943年にオランダ北部のヴェステルボルク通過収容所 (Durchgangslager Westerbork) に送られ、その後アウシュヴィッツに移送され殺害される。フランクフルト社会研究所所長マックス・ホルクハイマー (Max Horkheimer, 1895~1973)、ナチ党による研究所閉鎖後スイスへ向かう。1934年、アメリカへ渡り、コロンビア大学 (Columbia University) で社会研究所を立ち上げる。1940年、アメリカ市民権を取得する。1947年、アドルノ (Theodor W. Adorno) と共著で「啓蒙の弁証法 (Dialektik der Aufklärung)」を出版する。1943~49年、アメリカ・ユダヤ人協会 (American Jewish Committee) の科学部門長を務める。1949年、ドイツに戻り、フランクフルト大学教授に就任し、1951年社会研究所を再開する。1951~53年、大学の学長を務める。1954~59年、シカゴ大学で講義を行う。1960年、フランクフルト市から名誉市民称号が贈られる。

作家でドイツ共産党党员のアルフレート・カントロヴィッチ (Alfred Kantorowicz, 1899~1979)、フランスに亡命し、亡命ドイツ人作家保護同盟 (Schutzverband deutscher Schriftsteller im Exil) 創設に加わり、事務長に就任する。1934年、焚書処分された書物の図書館「ドイツ自由図書館 (Deutsche Freiheitsbibliothek)」を設立する。1936年、スペイン内戦に参加し、1938年にフランスに戻る。1939年、第二次世界大戦勃発とともに敵性外国人として拘留されるが逃走し、1941年、アメリカに渡り、CBS放送局 (Columbian Broadcasting System) で働く。1946年、ドイツに帰国し、翌年ドイツ社会主義統一党 (Sozialistische Einheitspartei Deutschlands) に入党する。1947~49年、雑誌「東と西 (Ost und West)」を編集する。1950年からフンボルト大学 (Humboldt-Universität) 教授を務めるが、1957年、ドイツ連邦共和国に移る。1959/61年、「ドイツ日記 (Deutsches Tagebuch)」を著す。

ハンブルク大学 (Universität Hamburg) 哲学教授エルンスト・カッシーラー (Ernst Cassirer, 1874~1945)、イギリスに亡命する。イギリスのオックスフォード大学 (University of Oxford)、スウェーデンのヨーテボリ大学 (Universität Göteborg) で教える。1941年にアメリカに移住し、イエール大学、コロンビア大学で教鞭を執る。1944年、「人間 (An Essay on Man)」を著す。

劇評家、作家のアルフレート・ケル (Alfred Kerr, 1867~1948)、プラハ、ウィーン、チューリヒ、パリを経て、1935年ロンドンに亡命する。1938年、ロンドンで自由ドイツ文化同盟 (Freier Deutscher Kulturbund) を共同創設する。1939年、ロンドン亡命ドイツ・ペンクラブ (Der deutsche PEN-Club im Exil in London) 会長に就任する。1945年から日刊紙「Die Welt」、「Die Neue Zeitung」で働く。1947年、英国国籍を取得する。1948年、ドイツでの講演旅行中、ハンブルクで卒中発作に見舞われ、その後自ら命を絶つ。

ヘルマン・ケステン (Hermann Kesten, 1900~1996)、フランスに亡命する。1939年、敵性外国人として抑留される。1939年、「ゲルニカの子どもたち (Die Kinder von Gernika)」を著す。1940年、アメリカへ渡る。1940~42年、ドイツ占領のフランスからドイツ人作家・芸術家を救助する緊急援助委員会 (Emergency Rescue Committee) の顧問を務める。1949年、アメリカ市民権を取得する。同年、「異国の神々 (Die fremden Götter)」を著す。1953年にローマに移り、1977年からはバーゼルに居住する。

指揮者オットー・クレンペラー (Otto Klemperer, 1885~1973)、アメリカに移住する。1933年ロサンゼルス・フィルハーモニック・オーケストラ (Los Angeles Philharmonic Orchestra) 指揮者、1947年ハンガリー国立歌劇場 (Ungarische Staatsoper) 監督、1959年フィルハーモニア・管弦楽団 (Philharmonia Orchestra) 指揮者等を歴任する。映画理論家、ジャーナリストのジークフリート・クラカウアー (Siegfried Kracauer, 1889~1966)、フランスに亡命する。1941年にアメリカへ渡り、ニューヨーク近代美術館 (Museum of Modern Art) ・フィルム・ライブラリーに勤める。1952~58年、コロンビア大学で応用社会学研究を行う。1947年「カリガリからヒトラーへ (From Caligari to Hitler)」、1960年「映画理論 (Theory of Film)」を著す。

元ヴァイマル共和国法務大臣オットー・ランズベルク (Otto Landsberg, 1869~1957)、チェコスロヴァキアを経てオランダに亡命する。第二次大戦中は、ドイツ軍占領下のオランダで友人宅に隠れ、逮捕を免れる。

エルゼ・ラスカー＝シューラー (Else Lasker-Schüler, 1869~1945)、スイスに亡命する。1937年、パレスチナへの旅行体験をもとに散文「ヘブライの地 (Das Hebräerland)」を著す。1939年、パレスチナへの3度目の旅行中に第二次世界大戦が勃発したためスイスへの帰国が不可能となり、パレスチナにとどまる。1940/41年戯曲「我と我 (Ich und Ich)」、1943年には最後の詩集「私の青いピアノ (Mein blaues Klavier)」を発表する。

チェコスロヴァキアへ逃れていた哲学者・評論家テオドル・レッシング (Theodor Lessing, 1872~1933)、ナチ党员によって暗殺される。彼は、1919年にハノーファー (Hannover) で最初の市民大学 (Volkshochschule) を開設する。1922年からハノーファー工科大学 (Technische Hochschule Hannover) 員外教授を務める。1925年のヒンデンブルク (Paul von Hindenburg, 1847~1934) についての論説が激しい非難にされられ、1926年に停職処分となる。1919年「無意味なものの意味づけとしての歴史 (Geschichte als Sinngebung des Sinnlosen)」、1925年「ニーチェ (Nietzsche)」、1930年「ユダヤ人の自己憎悪 (Der jüdische Selbsthaß)」等の著作がある。

客員教授としてスタンフォード大学 (Stanford University) に招聘されたクルト・レヴィン (Kurt Lewin, 1890~1947) は、ドイツへの帰国途中にヒトラー政権誕生の報を聞き、アメリカに移住する。アメリカでは、コーネル大学 (Cornell University)、アイオワ大学 (University of Iowa) で教える。1944年、マサチューセッツ工科大学 (Massachusetts Institute of Technology) にグループ・ダイナミクス研究センター (Research Center of Group Dynamics) を創設し所長に就任する。1945年、ニューヨークでコミュニティの相互関係に関する委員会 (Commission of Community Interrelations) を設立する。彼には、1935年「パーソナリティの力学理論 (A Dynamic Theory of Personality)」、1951年「社会科学における場の理論 (Field Theory in Social Science)」等の著作がある。

ヘルベルト・マルクーゼ (Herbert Marcuse, 1898~1979)、ジュネーブに亡命後、1934年にアメリカに移住する。1940年、アメリカ市民権を取得する。1942年から戦略諜報局 (Office of Strategic Services) に勤める。1951~54年まで、コロンビア大学、ハーバード大学 (Harvard University) のロシア研究所でソ連研究を行う。1954年、ブランダイス大学 (Brandeis University) 政治学・哲学教授に就任する。1955年「エロスと文明 (Eros and Civilization)」、1958年「ソヴィエト・マルクス主義 (Soviet Marxism)」、1964年「一次元的人間 (One-Dimensional Man)」を著す。1965年からカルフォルニア大学サンディエゴ校 (University of California, San Diego) 哲学教授を務める。

リーザ・マイトナー (Lise Meitner, 1878~1968)、ベルリン大学 (Friedrich-Wilhelms-Universität zu Berlin) 員外教授職を解かれるが、カイザー・ヴィルヘルム研究所 (Kaiser-Wilhelm-Institut) でオットー・ハーン (Otto Hahn, 1879~1968) 及びフリッツ・シュトラスマン (Fritz Straßmann, 1902~1980) と超ウラン元素の研究を続ける。1938年、オランダを経由してスウェーデンに亡命し、ノーベル研究所 (Nobel-Institut) に勤務する。1944年、かつての共同研究者ハーンが原子核分裂の発見でノーベル化学賞を受ける。1946年、アメリカの大学で招待講演を行う。1947年、ストックホルムの工科大学・物理学研究所の核物理学部長を務める。1955年、オットー・ハーン賞 (Otto-Hahn-Preis) を受ける。1960年、ケンブリッジに移住し、1966年、エンリコ・フェルミ賞 (Enrico-Fermi-Preis) を授与される。

エーリヒ・メンデルゾーン (Erich Mendelsohn, 1887~1953)、ロンドンに亡命し建築事務所を開く。1934年、エルサレムに建築事務所を設立し、病院や大学等の建築に携わる。1936年、ロンドンの事務所を閉じ、1939年、パレスチナに移住する。1941年、アメリカに渡る。1943年、イエール大学、ハーバード大学、プリンストン大学 (Princeton University) 等で講義を担当し、1947年にはカリフォルニア大学バークレー校 (University of California, Berkeley) の講師を務める。また、シナゴグ、病院、研究所等の建築を手がける。

政治学者ハンス・モーゲンソウ (Hans Joachim Morgenthau, 1904~1980)、フランクフルトの労働裁判所を解雇される。当時ジュネーブ大学 (Universität Genf) で公法を教えていたモーゲンソウは、帰国を断念してスペインに向かい、マドリードの大学で教える。1937年、アメリカへ渡り、ニューヨーク市立大学ブルックリン校 (Brooklyn College)、カンザス大学 (University of Kansas)、シカゴ大学で教鞭を執る。1943年、アメリカ市民権を取得する。1948年「国際政治論 (Politics among Nations)」、1951年「国益の擁護 (In Defense of the National Interest)」を著す。

ミュンヘン・レーテ共和国 (Münchener Räterepublik) に参加したエーリヒ・ミュースァム (Erich Mühsam, 1878~1934)、突撃隊 (Sturmabteilung) によって逮捕される。1934年、オラニエンブルク強制収容所 (KZ Oranienburg) に送られ拷問死する。

社会民主党顧問弁護士で労働組合代理人のフランツ・レーオポルト・ノイマン (Franz Leopold Neumann, 1900~1954)、ロンドンに亡命する。1936年、アメリカへ渡り、社会研究所の研究員となる。1942年、「ビヒモス ナチズムの構造と実際 (Behemoth: The Structure and Practice of National Socialism)」を著す (1944年に補訂版)。戦後、ニュルンベルク裁判 (Nürnberger Prozesse) に協力するとともに、ベルリン自由大学 (Freie Universität Berlin) 設立に関わる。1950年、コロンビア大学教授に就任する。

バイエルン最高地方裁判所裁判官アルフレート・ノイマイアー (Alfred Neumeyer, 1867~1944)、強制退職させられる。彼は、1920年にバイエルン・イスラエルの民ゲマインデ連盟 (Verband Bayerischer Israelitischer Gemeinden) を結成し、その代表者となる。また、ドイツ・ユダヤ人帝国代表部のメンバーとして、同胞の移住を支援する。1941年、アルゼンチンに亡命する。

エルヴィン・パノフスキー (Erwin Panofsky, 1892~1968)、ハンブルク大学美術史教授職を追われる。1934年、アメリカに亡命する。1934~35年、プリンストン大学、ニューヨーク大学美術研究所 (New York University Institute of Fine Arts) で教える。1935年、プリンストン高等研究所に勤める。1939年「イコノロジー研究 (Studies in Iconology)」、1943年「アルブレヒト・デューラー (Albrecht Dürer)」、1955年「視覚芸術の意味 (Meaning in the Visual Arts)」を著す。1962年、ニューヨーク大学教授に就任する。

演出家、劇場監督マックス・ラインハルト (Max Reinhardt, 1873~1943) はナチ党からの名誉アーリア人処遇の申し出を拒否し、ベルリンを去ってオーストリアへ向かう。1935年、アメリカで映画「真夏の夜の夢 (Sommernachtstraum)」を監督する。1937年、アメリカに移住する。1938年、マックス・ラインハルト・ワークショップ (Max Reinhardt

Workshop for Stage, Screen and Radio) を開く。

元共産党国会議員アルトゥル・ローゼンベルク (Arthur Rosenberg, 1889~1943)、チューリヒを経て英国に亡命する。

1937年、アメリカに移住し、ニューヨーク市立大学ブルックリン校で歴史を教える。1938年、「民主主義と社会主義 (Demokratie und Sozialismus)」を著す。

ヨーゼフ・ロート (Joseph Roth, 1894~1939)、パリに亡命する。1937年、ポーランド・ペンクラブの招待によりポーランドで講演を行う。1938年、オーストリアを訪問する。1938年「皇帝廟 (Die Kapuzinergruf)」、1939年「第千二夜物語 (Die Geschichte von der 1002. Nacht)」、「聖なる酔っ払いの伝説 (Die Legende vom heiligen Trinker)」を著す。1939年、パリの病院で死去する。

クルト・ザックス (Curt Sachs, 1881~1959)、ベルリン大学員外教授職及び国立音楽大学 (Staatliche akademische Hochschule für Musik) 古楽器コレクション長を解雇される。1937年、アメリカに渡り、ニューヨーク大学客員教授、ニューヨーク公共図書館 (New York Public Library)、メトロポリタン美術館 (Metropolitan Museum of Art) の顧問を務める。1950年、アメリカ音楽学会会長 (American Musicological Society) に就任する。1953年、コロンビア大学準教授として音楽学や楽器学を講じる。彼は、楽器学の創始者の一人とされ、主要著作として、1929年「楽器の精神と生成 (Geist und Werden der Musikinstrumente)」、1940年「楽器の歴史 (The History of Musical Instruments)」、1953年「リズムとテンポ (Rhythm and Tempo)」等がある。

批評家ハンス・ザール (Hans Sahl, 1902~1993)、プラハ、チューリヒを経てパリに亡命する。1937年、レーオポルト・シュヴァルツシルト達とともに、自由な報道と文学同盟 (Bund Freie Presse und Literatur) を設立する。1938年、チューリヒで受難劇「イエーマント (Jemand)」を上演し成功を収める。1939年、敵性外国人として抑留される。パリ陥落後、1940年にマルセイユへ逃れ、避難民の逃亡幫助活動に携わる。1941年、アメリカに渡る。1942年、詩集「明るい夜 (Die hellen Nächte)」を発表する。アメリカではアメリカ現代演劇の翻訳活動に携わる。戦後はノイエ・チュルチャー・ツァイトゥング紙 (Neue Zürcher Zeitung)、ヴェルト紙 (Die Welt)、南ドイツ新聞 (Süddeutsche Zeitung) の特派員としても活動する。1959年「少数派と多数派 (Die Wenigen und die Vielen)」、1983年「あるモラリストの回想 (Memoiren eines Moralisten)」を著す。1989年、ドイツに帰国する。

報道写真家エーリヒ・ザーロモン (Erich Salomon, 1886~1944)、オランダに移住する。彼は、1913年に法学博士号を取得、1914年にはマルヌ会戦 (Schlacht an der Marne) で戦争捕虜になる。1925年、ウルシュタイン社 (Ullstein Verlag) 宣伝部に勤め、写真撮影に携わる。法廷、国際会議、議会、国際連盟、ホワイトハウス、著名人等を撮った彼の写真は注目を浴びる。1931年、写真集「人の見ていない瞬間における有名な同時代人 (Berühmte Zeitgenossen in unbewachten Augenblicken)」を発表する。亡命先のオランダでは、スイス、英国、フランス、オランダの雑誌へ写真を提供する。1940年、ドイツ占領下のオランダで潜伏生活を送るが、1943年に捕らえられる。1944年、家族とともにテレージエンシュタットへ移送され、その後アウシュヴィッツへ移送され殺害される。彼は、被写体に気づかれずにその自然な表情を撮影するキャンディッド・フォト (Candid Photo) の名手とされる。1971年、ドイツ写真協会 (Deutsche Gesellschaft für Photographie) はエーリヒ・ザーロモン賞 (Dr.-Erich-Salomon-Preis) を創設する。

元ドイツ共産党員、国会議員ヴェルナー・ショーレム (Werner Scholem, 1895~1940)、逮捕される。1935年、反逆罪証拠不十分として釈放されるが、予防拘禁される。1937年ダッハウ強制収容所、1938年ブーヘンヴァルト強制収容所 (KZ Buchenwald) へ送られ、1940年に殺害される。

アルノルト・シェーンベルク (Arnold Schönberg, 1874~1951)、アメリカに亡命する。1935年、南カリフォルニア大学 (University of Southern California) で講義、個人教授を行う。1936~44年、カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (University of California, Los Angeles) 音楽教授を務める。1941年にはアメリカ市民権を取得する。1934~36年「ヴァイオリン協奏曲 (op. 36 Concerto for Violin and Orchestra)」、1942年「ナポレオンへの頌歌 (op. 41 Ode to Napoleon Buonaparte)」、1947年「ワルシャワの生き残り (Ein Überlebender aus Warschau)」等の作品を発表する。第三帝国の最初の国籍剥奪対象者リストに名前が載せられていたジャーナリストのレーオポルト・シュヴァルツシルト (Leopold Schwarzschild, 1891~1950)、ウィーン、そしてパリに亡命する。彼は、1920年に雑誌「日記 (Das Tagebuch)」を共同発行する。その後、最も成功した亡命者の雑誌とされる「新日記 (Das Neue Tage-Buch)」を発行する。1940年、アメリカに渡り、ジャーナリストとして活動し、1949年にドイツに帰国する。

アンナ・ゼーガース (Anna Seghers, 1900~1983)、ゲシュタポに逮捕されるが釈放され、フランスに亡命する。ドイツ軍によるフランス占領後、1941年メキシコへ渡る。1942年「第七の十字架 (Das siebte Kreuz)」、1944年「トランジット (Transit)」を発表する。1947年、ドイツに帰国し、ドイツ社会主義統一党員となる。1949年、「死者はいつも若い (Die Toten bleiben jung)」を著す。1950年、東ベルリンに移り、ドイツ芸術アカデミー創設メンバーとなる。1951年、ドイツ民主共和国国民賞を受賞する。1952~78年、ドイツ民主共和国作家連盟 (Schriftstellerverband der DDR) 会長を務める。

版画家ヤーコブ・シュタインハルト (Jakob Steinhardt, 1887~1968)、エルサレムに移住する。1947年、ベツァルエル美術デザイン学院 (Bezalel-Schule für Kunst und Kunsthandwerk) で教え、1953~57年、同校の校長を務める。彼は、1955年開催のビエンナーレ (Biennale) で国際賞を受賞する。

ユダヤ女性同盟 (Jüdischer Frauenbund) 副会長ラーエル・シュトラウス (Rahel Straus, 1880~1963)、パレスチナに移住し、1940年まで医師として活動する。その後社会福祉事業に携わり、若い移住女性のための家政学校の設立、移住者向けの古着の収集と配布、障害児童のリハビリ施設 AKIM (Israel Association for Rehabilitation of Mentally Handicapped Children) 創設等に関わる。1952年、婦人国際平和自由連盟 (Women's International League for Peace and Freedom) イスラエル支部を設立し名誉会長となる。

エルンスト・トラー (Ernst Toller, 1893~1939) スイス滞在中のため逮捕を免れ、亡命生活に入る。1933年、「ドイツの青春 (Eine Jugend in Deutschland)」を著す。パリ、ロンドンを経て、1936年アメリカに移住する。1939年、「牧師ハル (Pastor Hall)」を発表する。同年、ニューヨークのホテルで自殺する。

ブルーノ・ヴァルター (Bruno Walter, 1876~1962)、演奏会への妨害行為等によりオーストリアに移住し、ウィーン国立歌劇場 (Wiener Staatsoper) 監督に就任する。1938年のオーストリア併合後、スイスへ逃れ、その後フランス国籍を取得する。1939年、アメリカに移住し、ニューヨーク・フィルハーモニック (New York Philharmonic)、メトロポリタン歌劇場 (Metropolitan Opera House) 等で活躍する。1946年、アメリカ市民権を取得する。戦後はヨーロッパでも演奏活動を行う。

作曲家クルト・ヴァイル (Kurt Weill, 1900~1950)、パリに亡命する。ナチ党は彼の作品の上演を禁止する。パリでプレヒトとともに、バレエ「七つの大罪 (Die sieben Todsünden)」を上演する。1935年、アメリカに移住する。1943年、アメリカ市民権を取得する。1938年「ニッカーボッカー氏の休日 (Knickerbocker Holiday)」、1941年「闇の女 (Lady in the Dark)」、1943年「ヴィーナスの接吻 (One Touch of Venus)」等、多くの作品を発表する。

表現主義詩人、劇作家アルフレート・ヴォルフエンシュタイン (Alfred Wolfenstein, 1883~1945)、プラハへ逃れる。1936年、散文「危険な天使 (Die gefährlichen Engel)」を著す。1938年、パリに亡命する。1940年、パリで逮捕されるが釈放される。アメリカへの渡航が不可能なため偽名で潜伏生活を送る。1945年、パリの病院で命を絶つ。

クルト・ヴォルフ出版社 (Kurt Wolff Verlag) 及び美術出版社パンテオン (Kunstverlag Pantheon Casa Editrice) の創業者クルト・ヴォルフ (Kurt Wolff, 1887~1963)、ドイツを去り、トスカナ (Toskana) へ向かう。1938年、フランス、スペインを経て、1941年、アメリカに移住する。1942年、ニューヨークでパンテオン・ブックス (Pantheon Books) を創業する。1960年、事業から離れ、スイスに移り住む。

ベルリン日報 (Berliner Tageblatt) 編集長テオドール・ヴォルフ (Theodor Wolff, 1868~1943)、オーストリアを経てスイスに亡命する。1934年、南フランスへ移る。1943年、逮捕され、ザクセンハウゼン強制収容所 (KZ Sachsenhausen) に送られる。1943年、ベルリンのユダヤ人病院で死亡する。1962年、優れたジャーナリストに授与されるテオドール・ヴォルフ賞 (Theodor-Wolff-Preis) が設けられる。

詩人カール・ヴォルフスケール (Karl Wolfskehl, 1869~1948)、スイスに亡命する。1934年イタリア、1938年ニュージーランドに移住する。1950年には遺作「ヨブ (Hiob)」、「亡命の歌 (Sang aus dem Exil)」が発表される。

アルノルト・ツヴァイク (Arnold Zweig, 1887~1968)、パレスチナに移住する。1942年、週刊誌「オリエン特 (Orient)」を共同発行する。1948年、東ベルリンに戻る。1949~67年、人民議会 (Volkskammer) 議員となる。1950~53年、ドイツ芸術アカデミー理事長を務める。1950年にドイツ民主共和国国民賞、1959年にはモスクワで国際レーニン平和賞 (Internationaler Lenin-Friedenspreis) を授与される。

■1934年

- 2月 5日 ユダヤ人医学生、歯科学生が国家試験受験が禁止される。
- 2月 28日 ドイツ国防軍、アリア条項を受け入れる。
- 3月 5日 ユダヤ人俳優の上演が禁止される。
- 5月 10日 ナチ党によって焚書された書物を集めたドイツ自由図書館 (Deutsche Freiheitsbibliothek) がパリで開館される
- 7月 22日 ユダヤ人法学生の国家試験受験資格が剥奪される。
- 12月 8日 ユダヤ人の薬剤師国家試験受験が禁止される。

テオドール・アドルノ (Theodor W. Adorno, 1903~1969)、イギリスに亡命する。1938年、アメリカに移住する。1947年、ホルクハイマーと共著で「啓蒙の弁証法 (Dialektik der Aufklärung)」を著す。1949年、ドイツに戻り、フランクフルト大学社会哲学員外教授を務める。1951年、「ミニマ・モラリア (Minima Moralia)」を発表する。1956年、

フランクフルト大学教授となり、1958年に社会研究所所長に就任する。1959年、ドイツ批評家協会賞 (Deutscher Kritikerpreis) を受賞する。1966年、「否定弁証法 (Negative Dialektik)」を著す。

女優エルゼ・バッサーマン (Else Bassermann, 1878~1961)、出演が禁止される。ドイツ人の夫で著名な俳優のアルベルト・バッサーマン (Albert Bassermann, 1867~1952) とスイス、オーストリア、チェコスロヴァキアで活動する。1939年、アメリカに移住する。アルベルトは、1940年のアルフレッド・ヒッチコックの映画「海外特派員 (Foreign Correspondent)」に出演し、アカデミー助演賞にノミネートされる。戦後はヨーロッパに戻り、オーストリア、スイス、ドイツ、オランダで舞台に立つ。彼女は、映画俳優、映画脚本家としても知られている。

エーリヒ・フロム (Erich Fromm, 1900~1980)、アメリカに亡命し、1939年まで社会研究所の仕事に携わる。1940年、アメリカ市民権を取得する。その後、ベニングトン・カレッジ (Bennington College)、イエール大学で教鞭を執る。1950年、メキシコに移住し、1951年にメキシコ国立自治大学 (Universidad Nacional Autónoma de México) 医学部員外教授に就任する。1956年、メキシコ精神分析協会 (Mexican Psychoanalytic Society) を創設し、1963年にはメキシコ精神分析研究所 (Mexican Institute for Psychoanalysis) を開設する。1974年、スイスに定住する。主な著作として、1941年「自由からの逃走 (Die Furcht vor der Freiheit)」、1956年「愛するということ (Die Kunst des Liebens)」、1968年「希望の革命 (Die Revolution der Hoffnung)」、1976年「所有か存在か (Haben oder Sein)」等がある。彼は、1926年にユダヤ教から離れる。

文学研究家ケーテ・ハンブルガー (Käte Hamburger, 1896~1992)、スウェーデンに亡命する。スウェーデンでは、ドイツ語教師、ジャーナリストとして活動し、スウェーデン語でトルストイ、トーマス・マン、リルケ等に関する研究を行う。1945年、スウェーデン国籍を取得する。1956年、ドイツに帰国し、1957年に「文学の論理 (Logik der Dichtung)」を発表する。1959年にシュトゥットガルト工科大学 (Technische Hochschule Stuttgart) 員外教授となる。1985年、「同情 (Das Mitleid)」を著す。1989年、シラー記念賞 (Schiller-Gedächtnispreis) を受賞する。

クルト・ヒラー (Kurt Hiller, 1885~1972)、プラハに亡命する。その後、1938年にはロンドンへ逃れる。彼は1909年、表現主義文学集団「新クラブ (der Neue Club)」を共同結成し、1911年には文学カバレット「グヌー (GNU)」を設立する。1919年、反軍国主義的組織「反兵役同盟 (Bund der Kriegsdienstgegner)」を結成する。1920年、「ドイツ平和協会 (Deutsche Friedensgesellschaft)」に加盟し、1926年には「革命的平和主義者グループ (Gruppe Revolutionärer Pazifisten)」を創設する。ヒトラー政権成立後、三度逮捕され、強制収容所に拘禁される。亡命先のロンドンでは、「ドイツ社会主義者自由同盟 (Freiheitsbund Deutscher Sozialisten)」を結成する。1955年、ドイツに帰国する。

パウル・オスカー・クリステラー (Paul Oskar Kristeller, 1905~1999)、ドイツを離れ、フィレンツェの学校やピサの大学でドイツ語を教える。1939年、アメリカに移住する。イエール大学、コロンビア大学で教え、1956年、コロンビア大学教授に就任する。1948年「ルネサンスの人間哲学 (The Renaissance Philosophy of Man)」、1955年「古典とルネサンス思想 (The Classics and Renaissance Thought)」を著す。1955年にアメリカ芸術科学アカデミー (American Academy of Arts and Sciences) 会員になり、1957年にはアメリカ・ルネサンス協会 (The Renaissance Society of America) 会長に選出される。

ハンブルク大学低地ドイツ語文献学員外教授アガテ・ラッシュ (Agathe Lasch, 1879~1942)、解雇される。1942年、リガ (Riga) へ移送後殺害される。彼女はドイツで最初の女性ドイツ語学・文学研究者である。彼女を偲び、1970年にハンブルクでアガテ・ラッシュ通り (Agathe-Lasch-Weg)、2004年にはベルリンでアガテ・ラッシュ広場 (Agathe-Lasch-Platz) が設けられる。また、1992年には、若手研究者のためにアガテ・ラッシュ賞 (Agathe Lasch-Preis) が創設される。

マルブルク大学 (Universität Marburg) 歴史哲学・実存哲学私講師カール・レーヴィット (Karl Löwith, 1897~1973)、ロックフェラー奨学生としてイタリアへ向かう。1936年に来日し、東北帝国大学教授として、哲学とドイツ文学を担当する。1941年、アメリカに渡り、ハートフォード大学 (University of Hartford)、コネチカット大学 (University of Connecticut)、ニュースクール大学で教える。1952年、ドイツに帰国し、ハイデルベルク大学 (Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg) 教授に就任する。1936年「ヤーコプ・ブルクハルト (Jacob Burckhardt)」、1941年「ヘーゲルからニーチェへ (Von Hegel zu Nietzsche)」、1953年「ハイデッガー—乏しき時代の思索者 (Heidegger—Denker in dürftiger Zeit)」等の著作がある。

プロイセン初の女性警視 (Polizeirätin) マルタ・モッセ (Martha Mosse, 1884~1977)、公職を解雇される。彼女はベルリンのユダヤ人共同体で働き、ユダヤ人のための住宅斡旋部門の責任者となる。1943年、日本大使館の助力により (父親アルベルト・モッセは明治期に憲法顧問として来日)、アウシュヴィッツへの移送を免れ、テレージエンシュタットへ送られる。1945年に解放される。1948年からベルリンの刑事警察で働き、その後は警察本部の交通部門に勤務する。ケーニヒスベルク大学 (Albertus-Universität Königsberg) 現代史教授ハンス・ロートフェルス (Hans Rothfels, 1891

～1976)、免職される。1939年、英国に亡命する。英国での抑留生活後アメリカに渡り、1940～46年ブラウン大学 (Brown University) 客員教授、1946～51年シカゴ大学教授を務める。1951年、ドイツに戻り、チュービンゲン大学教授に就任する。1953～76年「季刊現代史 (Vierteljahreshefte für Zeitgeschichte)」を発行、1958～62年ドイツ歴史家連盟 (Der Verband der Historiker Deutschlands) 議長を務める。1961年には「ドイツ外交文書 1918-1945 (Akten zur deutschen auswärtigen Politik 1918-1945)」を共同編集する。1948年、「第三帝国への抵抗 (Die deutsche Opposition gegen Hitler)」を著す。

シュテファン・ツヴァイク (Stefan Zweig、1881～1942)、英国に亡命する。1940年、ニューヨークへ渡り、そこからアルゼンチン、パラグアイを経て、1941年にブラジルに移る。同年、「チェスの話 (Schachnovell)」、1942年「昨日の世界 (Die Welt von gestern)」を著す。1942年、睡眠薬の過剰摂取により命を絶つ。

■1935年

- 3月31日 ユダヤ人音楽家の演奏活動が禁止される。
- 5月～8月 ユダヤ人ボイコットプロパガンダが行われる。地方当局は、映画館、プール、公園、保養地、飲食店へのユダヤ人の立ち入りを禁止する。
- 5月21日 「国防法 [Wehrgesetz]」が発布される。アーリア人種が兵役の条件となる。
- 7月15日 ベルリンでユダヤ人への集団暴行 (クーア・フルステンダム暴動 Kurfürstendamm Krawall) が発生する。
- 9月6日 ユダヤ人への新聞、雑誌の販売が禁止される。
- 9月15日 「ニュルンベルク諸法 [Nürnberger Gesetze] : ドイツ国公民法 [Reichsbürgergesetz]、ドイツ人の血と名誉を守るための法 [Gesetz zum Schutz des deutschen Blutes und der deutschen Ehre]」が成立し、ユダヤ人の公民権が剥奪される。
- 9月30日 全てのユダヤ人公務員、裁判官、検察官が解雇される。
- 10月17日 ユダヤ人の映画館所有者に対し、12月10日までに映画館をアーリア人に売却するよう命じられる。
- 11月14日 「ドイツ国公民法第一命令 [Erste Verordnung zur Ausführung des Gesetzes zum Schutz des deutschen Blutes und der deutschen Ehre]」が発布される。ユダヤ人及び混血児の定義がなされる。
- 11月21日 公証人職志望者に、アーリア人証明書の提出が義務づけられる。

マールブルク大学 (Universität Marburg) ロマンズ語文献学教授エーリヒ・アウエルバッハ (Erich Auerbach、1892～1957)、解雇される。1936年、イスタンブルへ亡命し、イスタンブル大学 (Istanbul University) で教える。1958年、「ミメシス—ヨーロッパ文学における現実描写 (Mimesis. Dargestellte Wirklichkeit in der abendländischen Literatur)」を著す。1947年、アメリカに移住し、ペンシルベニア州立大学 (The Pennsylvania State University) で教える。1949年、プリンストン高等研究所研究員となる。1950年、イェール大学ロマンス語教授に就任する。1958年、「中世の言語と読者—ラテン語から民衆語へ (Literatursprache und Publikum in der lateinischen Spätantike und im Mittelalter)」を著す。

1912年ストックホルム・オリンピックの対ロシア戦で10ゴールを達成したドイツ代表サッカー選手ゴットフリート・フックス (Gottfried Fuchs、1889～1972)、所属クラブから除名される。1937年、フランスに移住する。1939年、敵性外国人として抑留されるが逃亡し、カナダへ亡命する。バーデン・ヴュルテンベルク (Baden-Württemberg) のサッカー3団体は、2016年ゴットフリート・フックス賞 (Gottfried-Fuchs-Preis) を創設する。

1925年度ノーベル物理学賞受賞者グスタフ・ヘルツ (Gustav Hertz、1887～1975)、シャルロテンブルク工学大学 (Technische Hochschule in Berlin-Charlottenburg) 物理学教授の職を追われる。1935年からベルリンのジーメンス社・研究実験室長になる。1945年、ソ連でウラン濃縮の研究を行う。1954年、ライプツィヒのカール・マルクス大学 (Karl-Marx-Universität) 物理学研究所長を務める。彼は、ドイツ民主共和国科学アカデミー (Akademie der Wissenschaften der DDR)、ソ連科学アカデミー (Akademie der Wissenschaften der UdSSR) のメンバーとなる。ドレーズデン工科大学 (Technische Hochschule Dresden) ロマンズ語文学教授ヴィクトール・クレンペラー (Victor Klemperer、1881～1960)、解雇される。図書館、新聞・雑誌の利用が不可能なため研究の継続を断念し、日々の感想・考えを密かに書き綴る。1940年、住居を追い出され住む所を転々とする。1945年、ドレーズデンに戻り、共産党員となる。1947～60年、ベルリン、ハレ (Halle)、グライフスヴァルト (Greifswald) の大学で教える。1950年、ドイツ民主共和国文化連盟 (Kulturbund) メンバーとして人民議会議員となる。1947年「LTI—第三帝国の言語 (LTI - Notizbuch eines Philologen)」を著す。1995年に日記「私は最後まで証言する ("Ich will Zeugnis ablegen bis zum letzten." Tagebücher 1933-1945)」が出版される。

イタリア滞在中の画家フェーリックス・ヌスbaum (Felix Nussbaum、1904～1944)、パリを経てベルギーに亡命する。

1938年、自由芸術家同盟 (Freier Künstlerbund) のパリの展覧会に作品を出品する。1940年、ベルギーで敵性外国人として逮捕され、南仏の収容所に抑留されるが、逃亡しブリュッセルに戻る。1943年、ブリュッセルの友人宅に潜伏していたヌスバウムは、ドイツ軍に拘束されアウシュヴィッツへ移送され殺害される。彼の作品として、1942年「孤独 (Einsamkeit)」、1943年「オルガン弾き (Orgelmann)」、1943年「ユダヤ人証を持つ自画像 (Selbstbildnis mit Judenpass)」、1943/44年「永劫の罪を受けた者たち (Die Verdammten)」、1944年「死の勝利 (Triumph des Todes)」等がある。

1929年にスウェーデンに移住したクルト・トゥホルスキー (Kurt Tucholsky, 1890~1935)、睡眠薬の過剰摂取により、ヨーテボリ (Göteborg) の病院で死亡する。1931年、「グリプスホルム城 (Schloß Gripsholm)」を発表する。

■1936年

- 2月 4日 ナチ党スイス支部長ヴィルヘルム・グストロフ (Wilhelm Gustloff, 1895~ 1936)、ユダヤ系クロアチア人ダヴィッド・フランクフルター (David Frankfurter, 1909~1982) によってダボス (Davos) で殺害される。歓喜力行団 (Kraft durch Freude) のクルーズ船は、彼にちなんでヴィルヘルム・グストロフ号と命名される。
- 3月 24日 子どもの多いユダヤ人家庭への助成金が打ち切られる。[Verordnung zur Änderung der Verordnung über die Gewährung von Kinderbeihilfen an kinderreiche Familien]
- 8月 1~16日 ベルリン・オリンピックが開催される。オリンピック期間は、ユダヤ人を排斥・敵視する行動や事件が減少する。
- 10月 4日 ユダヤ人のキリスト教への改宗は無効とされる。
- 10月 15日 ユダヤ人教師による非ユダヤ人への個人教授が禁止される。

■1937年

- 4月 15日 ユダヤ人の学位取得が禁止される。
- 7月 16日 ブーヘンヴァルト強制収容所が開設される。
- 7月 19日 ミュンヘンで「退廃芸術展 (Die Ausstellung der entarteten Kunst)」が開催される。
- 11月 4日 ユダヤ人がドイツ式挨拶 (Deutscher Gruß) をすることが禁止される。
- 11月 8日 ミュンヘンで「さまよえるユダヤ人 (Der ewige Jude)」展が開かれる。

ベルリン女子社会福祉学校 (Soziale Frauenschule Berlin) 創立者、国際ソーシャルワーク学校連盟 (International Association of Schools of Social Work) 議長のアリス・ザーロモン (Alice Salomon, 1872~1948)、英国を経てアメリカに移住する。1944年、アメリカ市民権を取得する。1946年、国際ソーシャルワーク学校連盟名誉会長の称号を与えられる。彼女が1908年に創立したベルリン女子社会福祉学校は、現在アリス・ザーロモン大学ベルリン (Alice Salomon Hochschule Berlin) として存続している。

■1938年

- 2月 27日 ベルリンで「退廃芸術展」が開催される。
- 3月 13日 オーストリアが併合される。
- 3月 18日 「武器法 [Waffengesetz]」が公布される。ユダヤ人の武器・弾薬の製造、保有、販売が禁止される。
- 3月 28日 ユダヤ人共同体は、法人としての資格を失い、民間団体となる。[Gesetz über die Rechtsverhältnisse der jüdischen Kultusvereinigungen]
- 4月 22日 ユダヤ経営の偽装補助に対する命令が公布される。[Verordnung gegen Unterstützung der Tarnung jüdischer Gewerbebetriebe]
- 4月 26日 国内外のユダヤ人資産 (5000 ライヒスマルク以上) の申告が義務づけられる。[Verordnung über die Anmeldung des Vermögens von Juden]
- 5月 31日 ユダヤ人への公的発注が禁止され、ユダヤ人は公的受注の入札から締め出される。
- 6月 14日 ユダヤ人企業の定義づけがなされる。[Dritte Verordnung zum Reichsbürgergesetz]
- 7月 6日 ユダヤ人による興信所、不動産仲介、警備業、結婚斡旋所、観光ガイド、行商の営業活動は12月31日までに終了するよう命じられる。[Gesetz zur Änderung der Gewerbeordnung für das Deutsche Reich]
- 7月 6~15日 エヴィアン会議 (Konferenz von Évian) が開かれる。
- 7月 23日 ユダヤ人は身分証明書の交付申請を12月31日までにを行うよう命じられる。
- 7月 25日 ユダヤ人医師の開業免許は9月30日に失効することが定められる。

- 7月27日 ユダヤ人の名前が付けられた総ての通りの名前が変更される。
- 8月17日 ユダヤ人男性には「イスラエル (Israel)」、女性には「サラ (Sara)」のミドルネームが追加される。[Zweite Verordnung zur Durchführung des Gesetzes über die Änderung von Familiennamen und Vornamen]
- 8月26日 アドルフ・アイヒマン (Adolf Eichmann、1906～1962) を長とするユダヤ人移住本部 (Zentralstelle für jüdische Auswanderung) がウィーンで設立される。
- 9月27日 ユダヤ人弁護士の免許が取り消される。[Fünfte Verordnung zum Reichsbürgergesetz]
- 10月5日 ユダヤ人のパスポートに赤いJのスタンプが押される。[Verordnung über Reisepässe von Juden]
- 10月28日 ユダヤ系ポーランド人約1万7000人がポーランド国境地帯に追放される。
- 11月9/10日「水晶の夜 (Kristallnacht)」事件が発生する。
- 11月10日 ユダヤ人の新聞・雑誌の発行が禁止され、半ば官製の「ユダヤ会報 (Jüdisches Nachrichtenblatt)」だけが発行を許可される。
- 11月11日 ユダヤ人の銃火器、刀剣、弾薬、火薬の購入、所有、使用が禁止される。[Verordnung gegen Waffenbesitz der Juden]
- 11月12日 「水晶の夜」事件の償いとして、ユダヤ人に対し10億ライヒスマルクの支払いが命じられる。[Verordnung über eine Sühneleistung der Juden deutscher Staatsangehörigkeit]
- 11月12日 劇場、映画館、コンサート、展覧会、カバレット、サーカス等へのユダヤ人の入場が禁止される。
- 11月12日 ドイツ経済活動からのユダヤ人排除命令が発布される。小売業、通信販売業、注文請負業、自営手工業が禁止される。[Verordnung zur Ausschaltung der Juden aus dem deutschen Wirtschaftsleben]
- 11月15日 ユダヤ人児童の公立学校通学が禁止される。
- 11月19日 公的な社会福祉事業からユダヤ人が除外される。[Verordnung über die öffentliche Fürsorge für Juden]
- 11月21日 1938年4月26日の命令により財産を報告した全てのユダヤ人に対して、贖罪として租税 (登録財産の20%) の支払いが課せられる。[Durchführungsverordnung über die Sühneleistung der Juden]
- 11月23日 ユダヤ人の小売業、通信販売業、注文請負業の解体と閉鎖が命じられる。[Verordnung zur Durchführung der Verordnung zur Ausschaltung der Juden aus dem Wirtschaftsleben]
- 11月28日 特定の地区への立ち入り、特定時間に姿を現すことが禁止される。[Polizeiverordnung über das Auftreten der Juden in der Öffentlichkeit]
- 11月末 キングートランスポート (Kindertransport) が行われる。1939年9月までの間に、ドイツ、オーストリア、チェコスロヴァキア、ポーランドから児童約10000人 (大半はユダヤ人) が救出され英国に送られる。
- 12月3日 ユダヤ人財産の活用に関する命令が発布される。ユダヤ人は所有企業、不動産、有価証券を一定期間内に売却もしくは精算するよう命じられる。[Verordnung über den Einsatz des jüdischen Vermögens]
- 12月3日 ユダヤ人の運転免許証が没収される。
- 12月8日 ユダヤ人の大学入学が禁止される。
- 12月20日 無職のユダヤ人に工場、建設、土地開墾への従事が命じられる。
- 12月21日 ユダヤ人助産婦が禁止される。
- 12月31日 ユダヤ系出版社、書店の閉鎖が命じられる。

1896年アテネ・オリンピック体操競技における金・銀のメダル保持者アルフレート・フラトー (Alfred Flatow、1869～1942)、オランダへ逃れる。1942年に逮捕され、テレージエンシュタットへ移送され、同年末に死亡する。1986年、ドイツ体操連盟 (Deutscher Turner-Bund) はフラトー・メダル (Flatow-Medaille) を創設する。

児童精神分析の開拓者アンナ・フロイト (Anna Freud、1895～1982)、父ジークムント・フロイト (Sigmund Freud、1856～1939) とともにウィーンを去り、ロンドンに亡命する。1940年、空襲のために親から離れて暮らす子どものために、ハムステッド保育所 (Hampstead War Nurseries) を共同設立する。1947年、ハムステッド児童治療者養成コース (Hampstead Child Therapy Courses) とクリニックを開設する。1965年、「児童期の正常と異常 (Normality and Pathology in Childhood)」を著す。

プロイセンで女性初の医学教授称号を授与されたラーエル・ヒルシュ (Rahel Hirsch、1870～1953)、ベルリンの診療所をたたみ、姉妹の住むロンドンへ移住する。英国では彼女の医師免許が承認されないため、実験助手や翻訳家として生計を立てる。

元フランクフルト大学歴史学教授エルンスト・カントロヴィッチ (Ernst Kantorowicz、1895～1963)、アメリカに亡命する。1945年にカルフォルニア大学バークレー校中世史教授、1951年にはプリンストン高等研究所教授を務める。1957年、「王の二つの身体—中世政治神学研究 (The King's Two Bodies: A Study in Mediaeval Political Theology)」

を著す。

詩人ゲルトルート・コルマー (Gertrud Kolmar, 1894~1943)、詩集「女性と動物 (Die Frau und die Tiere)」を発表するが、発禁処分される。1939年、父親とユダヤ人ハウス (Judenhause) に移る。1941年、軍需工場での強制労働を課せられる。1942年、父親がテレージェンシュタットへ移送される。1943年、逮捕され、アウシュヴィッツへ移送後殺害される。

1922年度ノーベル生理学・医学賞受賞者、カイザー・ヴィルヘルム医学研究所 (Kaiser-Wilhelm-Institut für medizinische Forschung) 生理学部長otto・フリッツ・マイヤーホフ (Otto Fritz Meyerhof, 1884~1951)、パリに亡命する。1938~1940年、パリの生物・物理化学研究 (Institut de Biologie physico-chimique) 所長に就任する。1940年、アメリカに渡り、ペンシルバニア大学生理化学教授を務める。

元フランクフルト大学社会学教授フランツ・オッペンハイマー (Franz Oppenheimer, 1864~1943)、アメリカに亡命する。その途中、慶應義塾大学に招聘され日本に滞在する。

ハンス・ロビンズーン (Hans Robinsohn, 1897~1981)、デンマークに亡命する。彼は、1918年にドイツ民主党に入党する。1934年、抵抗運動グループ (Robinsohn-Strassmann-Gruppe) を組織する。1943年、デンマークのユダヤ人が強制収容所に移送される直前、スウェーデンへ逃れる。1958年、ドイツに帰国し、1960~66年、ハンブルク国家社会主義の歴史研究所 (Forschungsstelle für die Geschichte des Nationalsozialismus in Hamburg) に勤める。

カルメル会修道女エーディット・シュタイン (Edith Stein, 1899~1942)、オランダのエヒト (Echt) のカルメル会修道院に逃れる。彼女は1916~18年、エトムント・フッサール (Edmund Gustav Albrecht Husser, 1859~1938) の助手を努め、哲学博士号を取得する。1922年、カトリックに改宗する。1923~31年、シュパイアー (Speyer) の聖マグダレーナ (St. Magdalena) 女子学院で教員生活を送る。1932年、ミュンスター (Münster) の教育学研究所 (Deutsches Institut für wissenschaftliche Pädagogik) の講師に就任するが、1933年に講師職を失う。1933年、ケルンのカルメル修道会 (Kölner Karmel) に入会する。1942年、ゲシュタポ (Gestapo) によって逮捕され、アウシュヴィッツへ移送後殺害される。1998年、ローマ教皇ヨハネ・パウロ2世 (Papst Johannes Paul II.) により列聖される。彼女の死後、「有限なる存在と永遠なる存在 (Endliches und ewiges Sein)」、「十字架の学問—十字架のヨハネについての研究 (Kreuzeswissenschaft. Studie über Joannes a Cruce)」等の著作が刊行される。

政治哲学者レーオ・シュトラウス (Leo Strauss, 1899~1973)、アメリカに移住し、ニュースクール大学で教える。1944年、アメリカ市民権を取得する。1949年、シカゴ大学政治学教授を務める。1956年「自然権と歴史 (Naturrecht und Geschichte)」、1959年「政治哲学とは何か (What is Political Philosophy?)」を著す。

フランツ・ヴェルフェル (Franz Werfel, 1890~1945)、オーストリア併合後フランスに亡命する。1940年、スペイン、ポルトガルを経てアメリカに亡命する。1941年、アメリカ市民権を取得する。1941年「ベルナデットの歌 (Das Lied von Bernadette)」、1944年喜劇「ヤコボフスキーと大佐 (Jacobowsky und der Oberst)」を著す。

■1939年

- 1月17日 ユダヤ人の歯医者、獣医、薬剤師の許可が取り消される。[Achte Verordnung zum Reichsbürgergesetz]
- 1月24日 ベルリンでユダヤ人移住全国センター (Reichszentrale für jüdische Auswanderung) が設立される。
- 1月30日 ヒトラー、国会演説で、来たるべき世界大戦ではヨーロッパにおいてユダヤ人種の絶滅になるだろう、と予告する。²⁾
- 2月21日 ユダヤ人は2週間以内に金、宝石、プラチナ、銀製品、真珠類を提出するよう命じられる。
- 4月30日 ユダヤ人の賃貸契約が無効となる。ユダヤ人の多くの住居が押収され、ユダヤ人はユダヤ人ハウスやユダヤ人居住地区に転居させられる。[Gesetz über Mietverhältnisse mit Juden]
- 5月13日 セント・ルイス (St. Louis) 号事件が起きる。セント・ルイス号は避難民937人 (大半はユダヤ人) を乗せ、キューバに向けハンブルクを出港する。しかし、ハバナ港でキューバ大統領により入国を拒否される。また、米国の埠頭に接岸することも断られ、やむなくヨーロッパに戻る。その後、ヨーロッパ各国は避難民を受け入れる。
- 5月15日 ラーヴェンスブルック (Ravensbrück) に女性専用の強制収容所が開設される。
- 7月4日 ドイツ・ユダヤ人帝国代表部が、強制的にドイツ帝国ユダヤ人連合 (Reichsvereinigung der Juden in Deutschland) に組織替えされ、国家保安本部の監督下に置かれる。
- 8月1日 ユダヤ人に宝くじを販売することが禁止される。
- 9月1日 ドイツ軍がポーランドに侵攻し、第二次世界大戦が勃発する。
- 9月1日 ユダヤ人に対し、夏期は21時以降、冬期は20時以降の外出禁止命令が下される。
- 9月12日 ユダヤ人は専用の店でのみ買い物をするように命じられる。

9月20日 ユダヤ人はラジオを提出するよう命じられる。

版画家、画家のルートヴィヒ・マイトナー (Ludwig Meidner, 1884~1966)、退廃芸術家とされ創作活動が不可能になり、英国に亡命する。1940~41年、敵性外国人として抑留される。1949年、画家の妻エルゼ (Else Meidner, 1901~1987) とロンドンのギャラリーで展覧会を開く。1953年、ドイツに帰国し、創作活動を始める。1990年、ルートヴィヒ・マイトナー協会 (Ludwig-Meidner-Gesellschaft) が設立される。

女性医師ヘルタ・ナートルフ (Hertha Nathorff, 1895~1993)、英国に亡命する。夫で医師のエーリヒ (Erich Nathorff, 1889~1954) は、1938年にザクセンハウゼン強制収容所へ連行されるが、数週間後に釈放される。1940年、夫妻はアメリカへ渡る。ヘルタは、ハーバード大学論文コンテスト「ドイツにおける私の生活 (Mein Leben in Deutschland)」に応募し入選する。彼女は、看護人やメイド等として働く。その後、研修を受け精神療法医として活動する。

画家シャルロッテ・ザーロモン (Charlotte Salomon, 1917~1943)、ドイツを脱出し、南仏の祖父母の元に身を寄せる。1943年、逮捕され、アウシュヴィッツへ移送後殺害される。1940~42年、自伝的な画集「人生それとも芝居? (Leben? Oder Theater?)」を制作する。

1915年度ノーベル化学賞受賞者リヒャルト・マルティン・ヴィルシュテッター (Richard Martin Willstätter, 1872~1942)、スイスに亡命する。1949年、遺稿「自伝 (Aus meinem Leben)」が出版される。

■1940年

1月23日 ユダヤ人への衣料配給券の配布が中止される。

2月12/13日 ドイツ国領土から最初の強制移送が行われる。シュテッティーン (Stettin) とその周辺のユダヤ人約1000人がルブリン (Lublin) へ送られる。

4月8日 第一級混血児、ユダヤ女性を妻に持つ者、第一級混血児の妻を持つ者が軍から排除される。第二級混血児、第二級混血児を妻に持つ者は、軍にとどまることができるが指揮権は保有できないとされる。

4月24日 国家保安本部は、ドイツ国領土からのユダヤ人の国外移住を強力に推進する方針を打ち出す。労働投入や兵役投入可能なユダヤ人が、ヨーロッパの敵国へ移住することは禁じられる。

5月10日 ドイツ軍、オランダ、ベルギー、フランスへの侵攻を開始する。

7月4日 ベルリンでは、ユダヤ人の食料品購入は16~17時の間と定められる。

7月19日 ユダヤ人の電話接続が解約される。ユダヤ人の電話保有が禁止される。

10月22日 バーデン (Baden) とザールプファルツ (Saarpfalz) から、約6500人のユダヤ人がフランス南西部のゲール強制収容所 (Camp de Gurs) へ移送される。

12月12日 ユダヤ人精神病患者がベンドルフ・ザイン (Bendorf-Sayn) の施設に移送される。その後、1942年3~11月の間に東部の強制収容所に送られる。

発達心理学者シャルロッテ・ビューラー (Charlotte Bühler, 1893~1974)、元ウィーン大学教授で心理学者の夫カール・ビューラー (Karl Bühler, 1879~1963) とアメリカに移住する。1941~42年クラーク大学 (Clark University) 客員教授、1943~45年ミネアポリスの病院の主任臨床心理士を務める。1945年、アメリカ市民権を取得する。1945~53年ロサンジェルス市の病院の主任心理士、1950~58年南カリフォルニア大学医学部・臨床精神医学準教授を務める。1971年、ドイツに帰国する。1962年、「心理療法における価値 (Values in Psychotherapy)」を著す。

レヒャ・フライアー (Recha Freier, 1892~1984)、パレスチナへ逃れる。1932年、信仰のため職を失った16歳代の東方ユダヤ人少年5人が、ベルリン主席ラビの夫と暮らす彼女の許に、援助を求める。1933年、彼女はユダヤ人青年援助委員会 (Hilfskomitee für Jüdische Jugend) を創設し、パレスチナ入植を推進する。彼女は、資金と出入国書類の調達、パレスチナでの生活のための教育等に奔走するが、彼女の非合法的手法が批判され委員会から外される。彼女の働きにより、7600人以上の子どもがドイツから救い出される。1941年イスラエルに農業研修センターを設立し、1958年にはイスラエル作曲家基金を創設する。1981年、イスラエル賞 (Israel-Preis) を授与される。

ハインツ・ガリンスキー (Heinz Galinski, 1912~1992)、ベルリンで強制労働を課せられる。1943年、家族とアウシュビッツへ移送される。1945年、ブーヘンヴェルト強制収容所で強制労働に従事するが、進攻してきた赤軍によりベルゲン＝ベルゼン強制収容所 (KZ Bergen-Belsen) に連行される。その後、英軍によって解放される。戦後は、ベルリンでユダヤ人共同体の再建、ナチスによって人種的、政治的、宗教的迫害を受けた人々のための最初の賠償法と生活扶助法制定に関わる。1949~1992年ベルリン・ユダヤ人共同体の長、1954~1963年及び1988~1992年ドイツ・ユダヤ人中央評議会 (Zentralrat der Juden in Deutschland) 議長を務める。1982年、ドイツ連邦共和国大功労十字星大綬章 (Großes Bundesverdienstkreuz mit Stern und Schulterband) を授与される。1987年、ハインツ・ガリンスキー財団 (Die

Heinz-Galinski-Stiftung) が創設される。

詩人ネリー・ザックス (Nelly Sachs, 1891~1970)、スウェーデンに亡命する。1952年、スウェーデン国籍を取得する。スウェーデン語を学び、スウェーデンの叙情詩をドイツ語に翻訳する。1961年、ネリー・ザックス賞 (Nelly-Sachs-Preis) が創設される。1965年ドイツ出版協会平和賞、1966年ノーベル文学賞を受賞する。1947年「死の住処で (In den Wohnungen des Todes)」、1949年「星の蝕 (Sternverdunkelung)」、1959年「逃走と変容 (Flucht und Verwandlung)」、1964~68「燃える謎 (Glühende Rätsel)」を発表する。

■1941年

- 2月18日 ヘルマン・ゲーリング (Hermann Göring, 1893~1946)、全ての労働可能なユダヤ人をグループ単位で、他の従業員とは隔離させて労働投入するよう指示する。
- 3月26日 アルフレート・ローゼンベルク (Alfred Rosenberg, 1893~1946)、ユダヤ人問題研究所 (Institut zur Erforschung der Judenfrage) をフランクフルト・アム・マインに設立する。
- 6月22日 ドイツ軍のソ連侵攻が始まる。
- 6月26日 ユダヤ人への石けん、ひげ剃り用石けんの配給が停止される。
- 9月1日 9月15日から、6歳以上のユダヤ人に、黄色い星印を衣服左前側に縫い付けることが義務化される。警察の許可無く、住居を離れることが禁止される。
- 9月17日頃 ドイツ国内からのユダヤ人の移送が決定される。
- 9月18日 ユダヤ人が居住地を離れる場合、公共交通機関を利用する際は警察の許可が必要とされる。ユダヤ人の寝台車、食堂車の利用が禁止される。
- 10月15日頃 ユダヤ人の東ヨーロッパへの組織的な強制移送が始まる。
この頃、国内 (オーストリア併合前の旧ドイツ国) に残留しているユダヤ人は約16万5000人、その内約7万人がベルリンに居住する。³⁾
- 10月18日 ベルリンから約1000人のユダヤ人を乗せた最初の移送列車がリッツマンシュタット (Litzmannstadt=ウッチ Łódź) に向け出発する。
- 10月23日 ユダヤ人の国外移住が禁止される。
- 10月31日 ユダヤ人は実際に行われた仕事に対して賃金が支払われるという権利しか持たない、職業安定所から割り当てられる仕事は残らず引き受けなければならない、との命令が出される。[Verordnugn zur Durchführung der Verordnung über die Beschäftigung von Juden]
- 11月13日 ユダヤ人に、タイプライター、自転車、写真機、計算機、双眼鏡、複写機の提出が命じられる。
- 11月25日 ユダヤ人の国籍喪失に関するドイツ国民法第11命令が公布され、外国に移住したユダヤ人のドイツ国籍が剥奪される。それにより、移住ユダヤ人の財産はドイツ国に帰属することになる。この命令は、強制移送されるユダヤ人にも適用され財産が没収される。[Elfte Verordnung zum Reichsbürgergesetz]
- 11月25/29日 ユダヤ系ドイツ人に対する最初の組織的大量殺害がコブノ (Kowno=カウナス Kaunas) で行われる。
- 11月27日 ユダヤ人は動産を自由に使うことが禁じられる。
- 12月12日 ユダヤ人の公衆電話使用が禁止される。

ハンブルクのユダヤ人共同体最後の大祭司ヨーゼフ・カルレバハ (Joseph Carlebach, 1883~1942)、リガ (Riga) へ移送され、リガ近郊の森で殺害される。

ドイツ帝国ユダヤ人連合幹部オットー・ヒルシュ (Otto Hirsch, 1885~1941)、ユダヤ人の移送に反対したため逮捕され、マウトハウゼン強制収容所 (KZ Mauthausen) に移送後殺害される。彼は、1921~33年ネッカー運河株式会社 (Neckar AG) 支配人を務める。また、ユダヤ教徒ドイツ国民中央協会 (Central-Verein deutscher Staatsbürger jüdischen Glaubens) メンバーとして、パレスチナへの移住を支援する。1930年には、ヴェルテンベルク・イスラエルの民宗教共同体 (Israelitische Religionsgemeinschaft) 議長を務める。ドイツ・ユダヤ人帝国代表部幹部時代は、同胞の経済支援、職業教育、研修に携わる。彼は、ゲシュタポによる逮捕、収容所での拘禁歴を持つ。ドイツ帝国ユダヤ人連合では、同胞の移住に尽力する。

■1942年

- 1月 ユダヤ人はウールや毛皮の衣料、スキー靴、登山靴を提出するように命じられる。
- 1月20日 ヴァンゼー会議 (Wannsee-Konferenz) が開催される。
- 2月14日 パン屋、洋菓子店には、ユダヤ人とポーランド人には販売しないと書かれた掲示が出される。

- 2月15日 ユダヤ人の家畜の保有が禁止される。
- 2月17日 ユダヤ人が新聞や雑誌を購読することが禁止される。
- 3月13日 保安警察は、ユダヤ人住居の戸口に、白い紙に黒字で印刷した星印を貼るよう命じる。
- 3月24日 ユダヤ人の公共交通機関の利用が制限される。
- 5月12日 ユダヤ人がアリア人の理髪店に行くことが禁止される。
- 5月18日 ベルリンの反ソ連展覧会「ソヴィエト天国 (Das Sowjetparadies)」が、ユダヤ人グループ (バウム・グループ) によって放火される。
- 6月 ドイツ、オーストリアから年配のユダヤ人がテレージエンシュタットへ移送される。
- 6月6日 ユダヤ人の公共待合室利用が禁止される。
- 6月11日 ユダヤ人のタバコ購入が禁止される。重度戦傷者や特権的異宗婚者は例外とされる。
- 6月12日 ユダヤ人がまだ保有している電化製品、自転車、光学機器、写真機、双眼鏡の提出が命じられる。
- 6月20日 ユダヤ人学校が閉鎖される。
- 9月18日 ユダヤ人への肉、卵、ミルク、小麦製品などの食糧品配給が中止される。
- 10月9日 ユダヤ人がアリア人の書店で図書を購入することが禁止される。
- 11月26日 軍需工場で働いているユダヤ人を移送し、総督府のポーランド人に代替させることが決定される。

ヘルベルト・バウム (Herbert Baum、1912～1942)、5月18日の反ソ展覧会放火事件で逮捕され、拷問中に死亡する。彼は、1933年以降、妻や友人達とバウム・グループ (Gruppe Herbert Baum) を結成する。グループには、社会主義者や共産主義者も加わりメンバー数は100人近くになる。グループは、パンフレットやビラの配布、ユダヤ人の潜伏補助、ユダヤ人強制労働者の支援等を行う。放火事件後、約30名のメンバーが逮捕され、殺害される。5月28日にはこの事件への報復として、500名のベルリン・ユダヤ人が逮捕され、半数が射殺、半数が強制収容所へ送られる。

ドイツ帝国ユダヤ人連合幹部コーラ・ベルリーナー (Cora Berliner、1890～1942)、ミンスク (Minsk) へ移送され殺害される。彼女は、1923年帝国経済省・参事官、1927年ロンドンのドイツ大使館顧問、1930年ベルリン職業教育研究所 (Berufspädagogisches Institut) 経済学教授、1934年ユダヤ女性同盟 (Jüdischer Frauenbund) 会長代理を歴任する。ユダヤ人連合では、移住部門を担当する。

ユダヤ教改革派・初の女性ラビであるレギーナ・ヨナス (Regina Jonas、1902～1944)、テレージエンシュタットへ移送される。収容所では、ヴィクトール・フランクル (Viktor Frankl、1905～1997) に協力し、新来者のメンタルヘルスケアに携わる。1944年、アウシュヴィッツへ移送後殺害される。

■1943年

- 2月26日 ドイツ人家政婦・掃除婦が、第一級混血児、異宗婚、ユダヤ人の家で働くことが禁じられる。
- 2月27日 「工場作戦 (Fabrikaktion)」が実施される。ベルリンの軍需工場で働く約8000人のユダヤ人が、職場で逮捕され、集合施設に連行され、その後アウシュヴィッツへ移送される。異宗婚、混血児のユダヤ人約2000人は、仮収容施設に送られ、調査の未釈放される。仮収容施設のあるローゼン通り (Rosenstraße) では、ドイツ人女性達が配偶者の逮捕に抗議する。この作戦により、大量移送は3月には終結する。
- 4月25日 ユダヤ人はドイツ国籍を喪失する。[Zwölfte Verordnung zum Reichsbürgergesetz]
- 6月10日 ドイツ帝国ユダヤ人連合は閉鎖され、残っていたメンバーは強制移送される。
- 6月19日 パウル・ヨーゼフ・ゲッベルス (Paul Joseph Goebbels、1897～1945) は、ベルリンからユダヤ人は一掃された (Judenfrei) と宣言する。
- 7月1日 ユダヤ人は警察法の管理下に置かれる。[Dreizehnte Verordnung zum Reichsbürgergesetz]

ドイツ帝国ユダヤ人連合幹部パウル・エプシュタイン (Paul Eppstein、1901～1944)、テレージエンシュタットへ移送される。彼は、1928～33年、マンハイム (Mannheim) の市民大学の校長を務める。ベルリンのユダヤ学大学 (Hochschule für die Wissenschaft des Judentums) で社会学を教える。ドイツ・ユダヤ人帝国代表部時代は、管理や社会福祉問題を担当する。また彼はゲシュタポによる逮捕歴を持つ。ドイツ帝国ユダヤ人連合では、移住問題に携わる。移送されたテレージエンシュタットでは、1943年からユダヤ人長老会議議長を務める。1944年に殺害される。

ドイツ帝国ユダヤ人連合最後の議長及びベルリン・ユダヤ人共同体最後の議長モーリッツ・ヘンシェル (Moritz Henschel、1879～1947)、テレージエンシュタットへ移送される。テレージエンシュタットでは長老会議メンバーとなる。彼は、1910年～38年ベルリン上級裁判所弁護士、1930～33年ベルリン弁護士会理事を務める。1945年の赤軍によるテレージエンシュタット解放後、パレスチナに移住する。

1912年ストックホルム・オリンピックのドイツ代表サッカー選手ユーリウス・ヒルシュ（Julius Hirsch、1892～1945）、アウシュヴィッツへ移送される。彼は、1910年にはカールスルーエ・サッカー協会（Karlsruhe Fußballverein）メンバーとして、ドイツ選手権に出場する。第一次大戦では従軍し、二級鉄十字章（Eisernes Kreuz II. Klasse）を授与される。1950年、カールスルーエ区裁判所は、ヒルシュが1945年に死亡したと発表する。2005年、ドイツサッカー連盟は、ユーリウス・ヒルシュ賞（Julius-Hirsch-Preis）を創設する。

ユダヤ人前線兵士全国同盟（Reichsbund jüdischer Frontsoldaten）創設者で一級鉄十字賞（Eisernes Kreuz I. Klasse）保有者レーオ・レーヴェンシュタイン（Leo Löwenstein、1879～1956）、妻とともにテレージェンシュタットへ移送される。テレージェンシュタット解放後、スイスへ移住する。

■1944年

- 6月23日 国際赤十字代表団がテレージェンシュタットを視察する。収容所側では実態を隠すため、事前に商店、コンサートホール、遊び場等を建設し予行演習を行う。視察後、視察団は、人道的扱いが行われていると報告する。
- 8～9月 テレージェンシュタットでプロパガンダ映画「総統閣下はユダヤ人に都市を贈られる（Der Führer schenkt den Juden eine Stadt）」が撮影される。

■1945年

- 1月18日 アウシュヴィッツから死の行進（Todesmarsch）が開始される。
- 1月27日 赤軍によりアウシュヴィッツが解放される。
- 2月5日 テレージェンシュタットから1200名のユダヤ人（ドイツ人663人、オランダ人434人、チェコスロヴァキア人103人。大半は60歳以上）が、列車でスイスへ運ばれる。⁴⁾
- 3月末 ベルリンからテレージェンシュタットへの最後の移送が行われる。
- 4月11日 アメリカ軍によりブーヘンヴァルト強制収容所が解放される
- 4月15日 英軍によりベルゲン＝ベルゼン強制収容所が解放される。
- 5月7/8日 ドイツ、降伏する。
- 5月8日 テレージェンシュタット、赤軍により解放される。

ユダヤ系ドイツ人約16万人が、ホロコーストの犠牲になったと推定される。戦争終結時、ドイツには約15000人のユダヤ人が生存していた。その内約12000人は異宗婚によって保護された人々であり、その他の人々は、地下に潜伏したり、或いは、偽名を使ったりして第三帝国時代を生き延びた人々であった。⁵⁾

注

- 1) http://www.bpb.de/fsd/centropa/judenindeutschland1933_1939.php（2017年5月20日確認）
- 2) 栗原優：ナチズムとユダヤ人絶滅政策（ミネルヴァ書房）1997、35頁。
ウォルター・ラカー編（井上茂子他訳）：ホロコースト大事典（柏書房）2003、385頁。
- 3) Moshe Zimmermann：DEUTSCHE GEGEN DEUTSCHE（Aufbau）2008、S.114.
- 4) <https://www.nzz.ch/schweiz/schweizer-geschichte/die-freigekauften-juden-aus-theresienstadt-1.18478724>
（2017年8月20日確認）
<http://www.ghetto-theresienstadt.info/pages/t/transporte.htm>（2017年8月20日確認）
- 5) Arno Herzig (Hrsg.)：Die Geschichte der Juden in Deutschland（Eller & Richter）2013、S.216.

参考文献

- 大内田わこ：ガス室に消えた画家ヌスバウムへの旅（草の根出版会）2004。
大澤武男：ヒトラーとユダヤ人（講談社）1995。
川上朋男：ドイツにおけるユダヤ人の歴史年表（4C～1933年）〔『常葉大学健康プロデュース学部雑誌』第11巻第1号、2017、9～29頁〕。
栗原優：ナチズムとユダヤ人絶滅政策（ミネルヴァ書房）1997。
H・クレプス（丸山匠訳）：オットー・ワールブルク（岩波書店）1982。
ルイス・A・コーザー（荒川幾男訳）：亡命知識人とアメリカ（岩波書店）1988。
ユーリウス・H・シェプス（石田黄広他訳）：ユダヤ小百科（水声社）2012。
芝健介：ホロコースト（中央公論新社）2008。

- 島谷謙：ナチスと最初に闘った劇作家エルンスト・トラーの生涯と作品（ミネルヴァ書房）1997。
- 島谷謙：第三帝国時代の亡命者をめぐる社会的考察—史実篇（一）—『広島大学総合科学部紀要Ⅲ.人間文化研究』12巻、2003、55-91頁]。
- 島谷謙：第三帝国時代の亡命者をめぐる社会的考察—史実篇（二）—『広島大学総合科学部紀要Ⅲ.人間文化研究』13巻、2004、95-129頁]。
- ハンス・ユルゲン・シュルツ（山下公子他訳）：彼ら抜きでいられるか（新躍社）2004。
- 長橋美英子：言葉の力で—ドイツの反ファシズム作家たち（新日本出版社）1982。
- 成瀬治他編：世界歴史大系 ドイツ史3（山川出版社）1997。
- サイモン・ノベック編（鶴沼秀夫訳）：二十世紀のユダヤ思想家（ミルトス）1996。
- 野村修：ベンヤミンの生涯（平凡社）1993。
- ラウル・ヒルバーク（望田幸男他訳）：ヨーロッパ・ユダヤ人の絶滅上下（柏書房）1997。
- ヴォルフガング・ベンツ（中村浩平他訳）：ホロコーストを学びたい人のために（柏書房）2004。
- ハンス・マイヤー（宇京早苗訳）：ドイツ人とユダヤ人 取り消された関係（法政大学出版局）2003。
- 前川玲子：亡命知識人たちのアメリカ（世界思想社）2014。
- 丸山匠：生命現象を探る（中央公論社）1972。
- 村上隆央：ベンヤミン（清水書院）2014。
- 矢野久美子：ハンナ・アーレント（中央公論新社）2014。
- 山本達夫：第三帝国における「経済の脱ユダヤ化」関連重要法令（I）[東亜大学 総合人間・文化学部『総合人間科学』第2巻 第1号、2002、53-70頁]。
- 山本達夫：第三帝国における「経済の脱ユダヤ化」関連重要法令（II）[東亜大学 総合人間・文化学部『総合人間科学』第3巻 第1号、2003、97-120頁]。
- ウォルター・ラカー編（井上茂子他訳）：ホロコースト大事典（柏書房）2003。
- 六草いちか：いのちの証言 ナチスの時代を生き延びたユダヤ人と日本人（晶文社）2017。
- Wolfgang Benz, Hermann Graml, Hermann Weiß (Hrsg.): Enzyklopädie des Nationalsozialismus (dtv) 1997.
- Martin Broszat, Norbert Frei(Hrsg.): Das Dritte Reich im Überblick (Piper) 2001.
- Israek Gutman (Hrsg.): Enzyklopädie des Holocaust, 4 Bde. (Piper) 1998.
- Arno Herzig (Hrsg.): Die Geschichte der Juden in Deutschland (Eller & Richter) 2013.
- Christoph Studt : Das Dritte Reich in Daten (Beck) 2002.
- Moshe Zimmermann : DEUTSCHE GEGEN DEUTSCHE. Das Schicksal der Juden 1938-1945 (Aufbau) 2008.
- Cola Berliner <<http://www.fembio.org/biographie.php/frau/biographie/cora-berliner/>> (2017年5月19日確認)
- Berufsverbot für jüdische Rechtsanwälte in Berlin <<http://slideplayer.org/slide/868056>> (2017年7月19日確認)
- Chronologie der Deportationen aus dem Deutschen Reich
<<http://www.bundesarchiv.de/gedenkbuch/chronicles.html?page=1>> (2017年8月20日確認)
- CHRONOLOGIE DES HOLOCAUST <<http://www.holocaust-chronologie.de>> (2017年7月8日確認)
- Chronologie zur Diskriminierung, Entrechtung, Verfolgung und Ermordung der Juden 1933 bis 1945
<<http://mahnmal-koblenz.de/index.php/daten-und-fakten/chronologie-zur-diskriminierung-entrechtung-verfolgung-und-ermordung-der-juden-1933-bis-1945>> (2017年7月19日確認)
- Daten zur Gelesenkirchener Stadtgeschichte
<http://www.gelsenzentrum.de/1939_geschichtswerk_1945.htm> (2017年7月19日確認)
- Fanny David<<http://www.dasjuedischehamburg.de/inhalt/david-fanny>> (2017年5月12日確認)
- Deportationen nach Theresienstadt und von Theresienstadt in andere Konzentrationslager
<<http://www.ghetto-theresienstadt.info/pages/t/transporte.htm>> (2017年8月20日閲覧)
- Die Entrechtung und Verfolgung der jüdischen Bevölkerung 1933-1945
<<http://www.zeichen-der-erinnerung.org/n3.htm>> (2017年7月18日確認)
- Recha Freier <<http://www.jg-berlin.org/beitraege/details/die-mutter-der-jugend-alijah-i666d-2013-05-01.html>>
(2017年5月21日確認)
- Die freigekauften Juden aus Theresienstadt <<https://www.nzz.ch/schweiz/schweizer-geschichte/die-freigekauften-juden-aus-theresienstadt-1.18478724>> (2017年8月20日確認)
- Manfred George <http://www.exilarchiv.de/DE/index.php?option=com_content&task=view&id=421&Itemid=1>
(2017年5月15日確認)

- Gesetze, vollständig <http://www.ns-quellen.at/gesetze_anzeigen.php> (2017年7月14日確認)
- Moritz Henschel <<http://www.ghetto-theresienstadt.info/pages/h/henschelm.htm>> (2017年5月20日確認)
- Julius Hirsch <<https://www.dfb.de/preiswettbewerb/julius-hirsch-preis/zur-person/>> (2017年5月18日確認)
- Judenverfolgung 1933-1939 <<http://www.geschichtsverein-koengen.de/Judenverfolgung.htm>> (2017年5月19日確認)
- Judenverfolgung konkret <<http://www.bibelpoint.de/judenverfolgung-konkret.html>> (2017年7月2日確認)
- Judenvernichtung 1939-1945 <<http://geschichtsverein-koengen.de/Holocaust.htm>> (2017年5月19日確認)
- Theodor Lessing <http://www.gdw-berlin.de/vertiefung/biografien/personenverzeichnis/biografie/view-bio/theodor-lessing/?no_cache=1> (2017年5月16日確認)
- Leo Löwenstein <<https://www.deutsche-biographie.de/sfz53996.html#ndbcontent>> (2017年5月10日確認)
- Maßnahmen/Gesetze gegen Juden im "Dritten Reich"
<<http://forge.fh-potsdam.de/~SWABD/gesetze.htm>> (2017年7月2日確認)
- Hertha Nathorff <https://www.leo-bw.de/web/guest/detail//Detail/details/PERSON/kg1_biographien/118824481/Nathorff+Hertha> (2017年5月16日確認)
- Der Nationalsozialismus Sammlung von Verweisen auf die gangigsten Quellesammlungen
<<http://www.zum.de/Faecher/G/BW/abbl/nationalsozialismus/zeittafel.htm>> (2017年5月16日確認)
- Statistik und Deportation der jüdischen Bevölkerung aus dem Deutschen Reich
<http://www.statistik-des-holocaust.de/list_ger_ber.html> (2017年8月20日確認)
- Rahel Straus <<https://jwa.org/encyclopedia/article/straus-rahel>> (2017年5月21日確認)
- Ernst Toller <<https://www.dhm.de/lemo/biografie/ernst-toller>> (2017年5月11日確認)
- Zeittafel zur Shoa und den Völkermorden des NS-Staates
<https://www.wecowi.de/wiki/Zeittafel_zur_Shoa_und_den_V%C3%B6lker_morden_des_NS-Staates>
(2017年7月14日確認)
- Zeittafel zur Vernichtung der Juden in Deutschland 1933-1945
<<http://www.juden-in-sachsen.de/deutschland-1933---1945.htm>> 1 (2017年7月14日確認)
- Arnold Zweig <https://de.wikipedia.org/wiki/Arnold_Zweig> (2017年5月17日確認)
- (2017.9.11 受稿, 2017.9.11 受理)